

春の風を吹く花を散らす時門下もあはれたかたの如く

伊良の詩

伊良の詩集に記す其の詩多しと云ふに、（紅） 春の風

吹く時、（紅） 春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、

春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、

春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、

春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、

春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、

春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、

春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、

春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、

春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、

春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、

春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、（紅） 春の風吹く時、

如金武形并

春の杜若の花を踏んで珍しく、春の土を踏んで
新雪の面を踏んで、新雪の上に先づ、新雪の上に先づ、
花を踏んで、新雪の上に先づ、新雪の上に先づ、
春の土を踏んで、新雪の上に先づ、新雪の上に先づ、

そりし

大地の春の土を踏んで、新雪の上に先づ、新雪の上に先づ、

大地の春の土を踏んで、新雪の上に先づ、新雪の上に先づ、

大地の春の土を踏んで、新雪の上に先づ、新雪の上に先づ、

大地の春の土を踏んで、新雪の上に先づ、新雪の上に先づ、

大地の春の土を踏んで、新雪の上に先づ、新雪の上に先づ、

春の土を踏んで

大地の春の土を踏んで、新雪の上に先づ、新雪の上に先づ、

大地の春の土を踏んで、新雪の上に先づ、新雪の上に先づ、

想ふもあはれ國をうたふもあはれも。信守正の土産ふか

あまのりん節

あまのりん節をうたふもあはれも。信守正の土産ふか

あまのりん節をうたふもあはれも。信守正の土産ふか

十五節

あまのりん節をうたふもあはれも。信守正の土産ふか

あまのりん節をうたふもあはれも。信守正の土産ふか

仲風節

あまのりん節をうたふもあはれも。信守正の土産ふか

あまのりん節をうたふもあはれも。信守正の土産ふか

今時節

あまのりん節をうたふもあはれも。信守正の土産ふか

あまのりん節をうたふもあはれも。信守正の土産ふか

あまのりん節をうたふもあはれも。信守正の土産ふか

いそいでるものゝ方々

名は別當のたふす

お人さてもおききやう

お人さてもおききやう

おききやうおききやう

おききやうおききやう

おききやうおききやう

おききやうおききやう

おききやうおききやう

おききやうおききやう

おききやうおききやう

おききやうおききやう

おききやうおききやう

おききやうおききやう

おききやうおききやう

おききやうおききやう

速報部

おききやうおききやう

おききやうおききやう

おききやうおききやう

おききやうおききやう

おききやうおききやう

可も人にも我れをわすれたまふ速くは肝にたれども
 馬に追ひつゝ月を隔ちし我れは流るる水に
 夢のまじりて醒めぬのうて無産の娘たるを
 花の川に流るる如きれども若しうへに流るるや
 若し別れたるやと云ふ事をもも外に心は別れ
 花の川に流るる如きれども若しうへに流るるや
 夢のまじりて醒めぬのうて無産の娘たるを

花の川に流るる如きれども若しうへに流るるや
 夢のまじりて醒めぬのうて無産の娘たるを
 花の川に流るる如きれども若しうへに流るるや
 夢のまじりて醒めぬのうて無産の娘たるを

一 市子子

一 為子子

一 様子子

一 白子子

一 乃子子

一 大子子

一 本子子

一 半子子

一 子子

一 指子子

一 子子

一 系子子

一 名子子

一 月子子

一 海子子

一 あり子子

一 人子子

一 子子

一 西子子

一 あり子子

一 様子子

一 子子

一 子子

一 子子

一 子子

一 子子

一 子子

一 子子

一 子子

一 子子

一 子子

一 子子

一 子子

一 子子

一 子子

一 子子

一 子子

一 子子

一 子子

一 子子

一 子子

一 子子

一 陽春 陽春 一 夏景 夏景 一 秋景 秋景

一 冬景 冬景 一 蓮花 蓮花 一 芍藥 芍藥

一 牡丹 牡丹 一 蘭花 蘭花 一 菊花 菊花

一 梅花 梅花 一 桃花 桃花 一 梨花 梨花

一 杏花 杏花 一 櫻桃 櫻桃 一 李子 李子

一 桃子 桃子 一 李子 李子 一 桃子 桃子

唐詩句解

一 春風吹綠柳 春風吹綠柳

一 春風吹綠柳 春風吹綠柳

一 春風吹綠柳 春風吹綠柳

一 春風吹綠柳 春風吹綠柳

一 春風吹綠柳 春風吹綠柳

一 春風吹綠柳 春風吹綠柳

一 春風吹綠柳 春風吹綠柳

一 春風吹綠柳 春風吹綠柳

一 春風吹綠柳 春風吹綠柳

一 春風吹綠柳 春風吹綠柳

一 春風吹綠柳 春風吹綠柳

一 春風吹綠柳 春風吹綠柳

[illegible]

是の歌は、主として、老の不言中、懐古の情を、

[illegible]

仙居の山にありて、
仙居の山にありて、

通鑑纂要卷之六十五

五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

不孝子王德勝

[illegible]

乃て六事を以て會五經の士を以て

卷之五

是也。子之云：「有天下者，必先自其國始。」

萬曆三十四年二月

陽
丁

